

(平成16年2月時点)

地域水田農業ビジョン策定に係る取組事例

市町村名 富山県中新川郡上市町

☆富山県の中央にある県都富山市の以東、約15Kmに位置する田園工業都市で、肥沃な大地と豊かな水、いち早く進んだ基盤設備と勤勉な営農によって、富山米を代表するおいしい米作りを誇る。米をめぐる厳しい環境の中でも、農業への情熱は深く、中核農家の育成や集落営農をはじめとする経営の効率化など、熱心に取り組まれている。



☆特産品の開発にも意欲的で、里芋・グリーンアスパラガス・キウイフルーツなどはすでに定評があり、さらに近年は穴の谷霊水を使用した健康食品など、加工による高付加価値型特産品の開発も積極的に行われている。

取組のポイント

- ☆上市町、舟橋村、滑川市、立山町をエリアとする広域農協JAアルプスが主体となり、検討チーム会議での取組等を中心としたビジョンづくりを推進
- ☆作物としては、これまでの取組を踏まえ、大豆、大麦、野菜を中心に振興

取組のキーワード

★★広域農協を主体としたビジョンづくり★★



(検討チーム会議での検討状況)



(需要に応じた大豆の生産振興)

取組内容

- 各市町村間で温度差（これまでの大豆・麦の本作化、集落営農への取組の進展に違い）はあるものの、管内組合員間の平等性の確保と産地づくりを強力に推進するためには、4市町村で同じ対策をとる必要があるのではないかとの観点から、15年5月にJAアルプスが旗振りを行い、その後各市町村での検討を経て、JAアルプス管内を1地域協議会として取り組むこととしたところ。
- 10月にビジョン（策定エリアはJAアルプス管内一円）の素案を作成し、11月以降、地区別協議会、生産組合長、各種団体等への素案提示・意見集約を経て、16年1月にビジョンを決定。その後、集落懇談会等を通じ農業者等へ内容を周知。
- 作物生産としては、これまでの取組を踏まえ、大豆（品種：エンレイ、豆腐用：85%、ユーザー：名古屋を中心とした東海圏を確保）、大麦（品種：ファイバースノウ）、野菜（品目：サトイモ（上市町）、課題：高齢化、鳥獣害（サル、カモシカ、イノシシ）対策等）を推進する予定。
- 担い手については、7月以降、JA支店（集落）毎に、農業者等へのアンケート調査等を通じた担い手候補のリストアップ（～9月）を行い、12月までにリストを精査し、名簿に掲載。

地域からのメッセージ

- ・後継者や新規就業者の育成・確保に努めるとともに、産地維持とクリーン農業の促進、新作物の導入、加工・販売体制の整備、土地の流動化や基盤整備、作業の受委託体制の整備、農業情報化の推進などを促進し、農業の振興を図ります。
- ・情熱あふれる後継者のもと安定した農業生産が図られるとともに、農林業・工業・商業・サービス業・観光が連携し、町民やUJIターン者による起業や新分野への進出が盛んな、地域内経済循環による産業構造が確立される「はつらつとしたまち」を目指します。

策定スケジュール

- 15年 6月 アルプス地域水田農業検討チーム会議設置（これまで全体会議4回、作業部会を8回開催）
- 7月 アルプス地域水田農業推進協議会（第1回）
- 10月 検討チーム会議にて**素案作成**（素案内容：別添参照）
地域水田農業推進協議会（第2回：素案協議）
- 11月 地区別協議会、生産組合長、各種団体等への素案提示・意見集約
- 12月 地域水田農業推進協議会（第3回：ビジョン案協議）
- 16年 1月 地域水田農業推進協議会（第4回：**ビジョン決定**）
集落懇談会等を通じた内容周知（～3月）

推進体制（概略）

